

2023年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月28日

上場会社名 アクモス株式会社
コード番号 6888 URL <https://www.acmos.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 飯島 秀幸

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画管理部長 (氏名) 末國 真一

TEL 03-5539-8800

四半期報告書提出予定日 2023年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	4,272	24.6	543	46.8	571	54.1	369	65.4
2022年6月期第3四半期	3,429	1.9	370	18.7	371	18.8	223	31.0

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 384百万円 (72.4%) 2022年6月期第3四半期 222百万円 (35.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	37.81	
2022年6月期第3四半期	22.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	4,774	3,038	58.4
2022年6月期	4,593	2,796	55.6

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 2,787百万円 2022年6月期 2,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		13.00	13.00
2023年6月期		0.00			
2023年6月期(予想)				12.00	12.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2022年6月期の期末配当には記念配当2円00銭(上場25周年記念)が含まれております。

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	23.5	570	20.6	560	18.0	365	20.2	37.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期3Q	10,215,400 株	2022年6月期	10,215,400 株
期末自己株式数	2023年6月期3Q	425,343 株	2022年6月期	439,343 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期3Q	9,782,239 株	2022年6月期3Q	9,763,213 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日、以下「当四半期」という。)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、ウイズコロナの生活様式への切り替えが進むなか、経済活動も緩やかに回復傾向がみられますが、世界的な物価上昇や金融引き締めの影響により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業を取り巻く環境は、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進により、国、地方公共団体及び民間ではシステム更新や新サービス創出のための基盤構築などの取り組みが進められております。政府の方針としてもマイナンバーの普及などの行政のデジタル化推進や、サイバーセキュリティ戦略、教育、医療、防災等のDXが重点方針として掲げられており、IT分野の拡大が期待できます。一方で慢性的なIT人財の不足が続いており、人財の確保と育成が重要課題となっております。

当社では、2022年4月入社の新入社員については、初年度をIT人財としての知識や行動を習得する研修期間と位置付け、開発系人財については2023年3月末で1年間の研修期間を終了いたしました。研修期間中には実践的なプロジェクトとして社員の健康診断予約システムを開発しました。今年度の健康診断予約に使用し、効率化に寄与しております。

当期からの中期経営計画Ⅲ(2022年7月～2025年6月)の開始に当たり制定いたしました「社は」である”挑戦する心”のもと、「進化」をテーマとし、Business(事業)、Members(人財)、Value(付加価値)3つの分野でGoodに挑戦し、外部環境に左右されない成長企業への進化を目指します。成長領域の軸をセキュリティからクラウドに拡大し、お客様のニーズに対応する最適なICTサービスを提供してまいります。

当四半期の売上高は4,272百万円(前四半期は売上高3,429百万円、前四半期比24.6%増)、営業利益は543百万円(前四半期は営業利益370百万円、前四半期比46.8%増)、経常利益571百万円(前四半期は経常利益371百万円、前四半期比54.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は369百万円(前四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益223百万円、前四半期比65.4%増)となりました。当四半期の連結業績には、前期末に連結子会社となった株式会社フィールドワンの損益が加わっております。なお、株式会社フィールドワンの決算日は3月末日であるため、当四半期は株式会社フィールドワンの第3四半期(自2022年4月1日至2022年12月31日)の財務諸表を使用し、決算日が異なることから生じる差異については必要な調整を行っております。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。なお、当期より報告セグメントを「ITソリューション」、「ITインフラ」及び「ITサービス」の3区分に変更しております。変更の内容は以下の表のとおりです。

当期からの区分	主な事業内容	前期までの区分
ITソリューション	SI・ソフトウェア開発、 消防防災ソリューション、GISソリューション	ITソリューション
ITインフラ	IT基盤・ネットワーク構築、 クラウド関連サービス	
ITサービス	第三者保守サービス、病院情報システム維持管理、 サーベイ・アンケート、ビジネスプロセスアウトソーシング(BPO)	ITサービス

(注) 1. 前第3四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2022年3月31日)は「前四半期」と記載しています。以下同じ。

2. 以下の各セグメントの文中における前四半期の実績値は、変更後のセグメント区分により組み替えた後の数値となっており、記載箇所には※を付しております。

(ITソリューション)

当四半期では、官公庁のシステム開発に関するソリューション案件が完了したことや、民間企業からの開発などスポット案件の受注もあり、SI・ソフトウェア開発の受注は堅調に推移しました。当四半期の売上高は2,384百万円(※前四半期は売上高2,191百万円、前四半期比8.8%増)、営業利益は263百万円(※前四半期は営業利益171百万円、前四半期比53.4%増)となりました。

(ITインフラ)

当四半期では、官公庁のクラウドを活用したネットワーク構築案件が順調に完了し、クラウド化及びセキュリティ強化の需要を捉え、構築、運用案件を中心とした売上也堅調に推移しました。当四半期の売上高は674百万円(※前四半期は売上高640百万円、前四半期比5.3%増)、営業利益は156百万円(※前四半期は営業利益145百万円、前四半期比7.8%増)となりました。

当社のSaaS製品群(注)については、販売パートナーの自社媒体でのご紹介やWEB媒体へのご掲載をいただ

いているほか、展示会への出展を行うなど販売活動に注力しており、販売パートナー経由での売上が増加しております。

(注) 当社 SaaS 製品群

- ・ 標的型攻撃メール訓練ソリューション製品
「SYMPROBUS Targeted Mail Training」
- 「SYMPROBUS CoTra Enterprise」
- ・ 添付ファイル分離メールゲートウェイソリューション
「SYMPROBUS File Atcala」

(IT サービス)

前期末に連結子会社となった第三者保守サービスを提供する株式会社フィールドワンの業績が加わっております。第三者保守サービスでは、保守・レンタルでは概ね堅調であったほか、販売・修理でシステムの販売が好調で、業績は順調に推移しました。病院情報システム維持管理では請負単価の増額や新規受注、既存契約の増員等があったものの、人財不足により一部契約を終了して付加価値の高い契約に集中いたしました。また、サーベイ・アンケート、BPO(注)ではWEB広告やSEOを活用したプロモーション展開のほか、販売パートナーとの連携を強化し、売上高・営業利益とも前四半期を上回り業績は回復基調となっております。ITサービスの当四半期の売上高は1,213百万円(※前四半期は売上高612百万円、前四半期比98.2%増)、営業利益は159百万円(※前四半期は営業利益83百万円、前四半期比92.0%増)となりました。

(注) BPO: ビジネスプロセスアウトソーシング

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当四半期末の総資産は前連結会計年度末から180百万円増加し4,774百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少468百万円のうち、受取手形及び売掛金の増加482百万円、仕掛品の増加43百万円、敷金の増加55百万円があったことによるものです。なお、敷金の増加については2023年4月24日に実施した当社本社事務所の移転の契約にあたり支払いを行ったものです。

(負債)

当四半期末の負債は前連結会計年度末から61百万円減少し1,735百万円となりました。これは主に、買掛金の増加82百万円、短期借入金の増加50百万円、賞与引当金の増加139百万円のうち、未払費用の減少250百万円、長期借入金の返済46百万円、未払法人税等の減少30百万円があったことによるものです。

(純資産)

当四半期末の純資産は前連結会計年度末から241百万円増加し3,038百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益369百万円、配当金の支払い127百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、概ね想定どおりに推移しております。

なお、当社は、賃貸借契約期間満了に伴い、経営環境にあわせて働く環境の充実を図るとともに、グループ本社としての機能を高めるため、2023年4月24日に本社事務所を移転いたしました。移転に伴う費用については次の第4四半期会計期間に計上を予定しておりますが、2022年8月3日付の「2022年6月期決算短信」にて公表いたしました2023年6月期の業績予想に変更はありません。

業績予想は、入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,828,989	2,360,813
受取手形及び売掛金	751,781	1,234,672
商品	349,243	372,203
仕掛品	49,392	92,739
その他	81,474	142,809
貸倒引当金	△825	△825
流動資産合計	4,060,056	4,202,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	268,653	269,178
減価償却累計額	△176,870	△182,973
建物及び構築物（純額）	91,783	86,205
工具、器具及び備品	212,678	216,370
減価償却累計額	△181,623	△183,475
工具、器具及び備品（純額）	31,055	32,894
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	191,674	187,937
無形固定資産		
のれん	20,453	16,194
ソフトウェア	34,827	54,906
その他	3,200	7,069
無形固定資産合計	58,481	78,169
投資その他の資産		
投資有価証券	26,608	29,165
繰延税金資産	101,124	102,700
その他	155,779	174,060
投資その他の資産合計	283,512	305,926
固定資産合計	533,668	572,033
資産合計	4,593,725	4,774,446

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	192,616	274,905
短期借入金	135,000	185,000
1年内返済予定の長期借入金	62,400	62,400
未払金	185,234	196,853
未払費用	400,977	150,489
未払法人税等	134,291	103,362
賞与引当金	37,144	176,325
その他	170,826	157,097
流動負債合計	1,318,490	1,306,435
固定負債		
長期借入金	437,600	390,800
その他	40,671	38,520
固定負債合計	478,271	429,320
負債合計	1,796,762	1,735,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,208,265	1,196,258
利益剰余金	699,211	942,015
自己株式	△45,827	△44,367
株主資本合計	2,554,899	2,787,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△251	△84
その他の包括利益累計額合計	△251	△84
非支配株主持分	242,314	251,618
純資産合計	2,796,963	3,038,691
負債純資産合計	4,593,725	4,774,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	3,429,264	4,272,251
売上原価	2,154,481	2,634,943
売上総利益	1,274,783	1,637,308
販売費及び一般管理費	904,677	1,093,948
営業利益	370,106	543,359
営業外収益		
受取利息及び配当金	657	203
保険解約返戻金	—	33,202
その他	1,814	2,732
営業外収益合計	2,472	36,138
営業外費用		
支払利息	916	4,610
為替差損	—	2,897
その他	532	4
営業外費用合計	1,449	7,512
経常利益	371,129	571,985
特別損失		
減損損失	3,702	—
事務所移転費用	2,012	5,210
助成金返還引当金繰入額	3,304	—
その他	—	147
特別損失合計	9,019	5,357
税金等調整前四半期純利益	362,109	566,628
法人税、住民税及び事業税	160,217	184,288
法人税等調整額	△22,242	△1,649
法人税等合計	137,975	182,638
四半期純利益	224,134	383,989
非支配株主に帰属する四半期純利益	508	14,097
親会社株主に帰属する四半期純利益	223,625	369,892

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	224,134	383,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,304	166
その他の包括利益合計	△1,304	166
四半期包括利益	222,830	384,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	222,321	370,058
非支配株主に係る四半期包括利益	508	14,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	I Tソリューション事業	I Tインフラ事業	I Tサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,178,997	638,342	611,924	3,429,264	—	3,429,264
外部顧客への売上高	2,178,997	638,342	611,924	3,429,264	—	3,429,264
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,327	2,178	253	14,759	△14,759	—
計	2,191,325	640,520	612,178	3,444,024	△14,759	3,429,264
セグメント利益	171,938	145,200	83,253	400,392	△30,286	370,106

(注) 1 セグメント利益の調整額△30,286千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△31,613千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「I Tソリューション事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,702千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	I Tソリューション事業	I Tインフラ事業	I Tサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,384,157	674,692	1,213,401	4,272,251	—	4,272,251
外部顧客への売上高	2,384,157	674,692	1,213,401	4,272,251	—	4,272,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	456	—	159	615	△615	—
計	2,384,613	674,692	1,213,561	4,272,867	△615	4,272,251
セグメント利益	263,680	156,508	159,844	580,034	△36,674	543,359

(注) 1 セグメント利益の調整額△36,674千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△34,240千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等でありませ

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2022年6月30日に株式会社フィールドワンを連結子会社としたことに加え、中期経営計画Ⅲでは事業種類ごとの収益性、成長性に基づき更なる成長を実現するため、事業のサービス別のセグメントを経営資源の配分や業績評価の観点から見直しを行った結果、当期よりセグメントを「I Tソリューション」、「I Tインフラ」及び「I Tサービス」の3区分に変更しております。変更前のI Tソリューションから、I T基盤・ネットワーク構築分野を分離し、I Tインフラといたしました。また、アクモスメディカルズ株式会社は従来、I Tソリューション事業に区分しておりましたが、事業譲渡による事業内容の変更に伴いI Tサービスに区分いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。